

#### 四、酒井忠世書状

##### 解説

端裏書により、酒井忠世から真田信之に出された書状と知られる。内容は、植木の松四本・繭一本を送られたことを謝したものである。酒井忠世は近世初期の江戸幕府老中で上野国厩橋藩主。慶長十二年（一六〇七）雅楽頭を称し、寛永十三年（一六三六）に没した。一方の真田信之は文禄二年（一五九三）伊豆守に任ぜられ、関ヶ原合戦では父昌幸・弟幸村と行動を別にし、東軍に属したことである。万治元年（一六五八）に没している。